

学校における働き方改革取組計画について

1 策定の趣旨

学校を取り巻く環境が複雑化・多様化する中で、教職員の超過勤務は高止まりしており、教職員の心身の健康を損なう恐れがあるだけでなく、教育の質の低下や、教員の人材確保にも影響を与えかねない状況にある。

このため、県教育委員会では、平成30年3月に「学校における働き方改革取組計画」を策定し、「教職員が健康でいきいきと働くことができ、子ども一人ひとりと向き合う時間を確保することで、教育の質を高め、子どもたちの『夢と生きる力』を育む」ことを目指して県内すべての公立学校の働き方改革を推進してきたところ。

現行計画は、今年度末が終期であるため、今年度中に新たな計画を策定し、さらなる働き方改革に取り組むもの。

2 これまでの経緯

- H28～29 「働き方改革推進会議」、「教職員超過勤務縮減プロジェクト協議会」、市町教育委員会との意見交換等を踏まえ、県教育委員会の取組を検討
- H30.3 「学校における働き方改革取組計画」策定(計画期間 平成30年度～令和2年度)
- R元.12 「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律」成立
- R2.3 法改正等を踏まえ「学校における働き方改革取組計画」改定(計画期間 令和2年度～令和4年度)

3 次期取組計画の策定に向けて

次頁資料のとおり

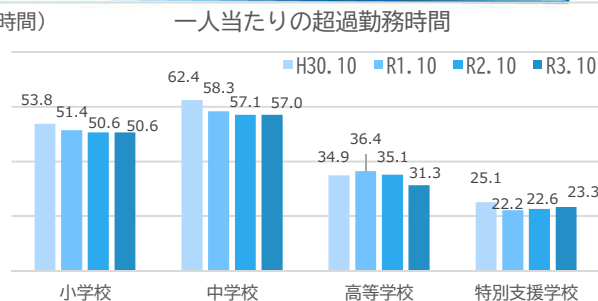
4 今後のスケジュール

- 9～10月 教職員アンケートの実施
- 10～11月 アンケート結果分析、取組内容等の検討
- 12～2月 関係各所、団体等からの意見聴取、取組内容等の再検討
- 3月 次期取組計画策定

「学校における働き方改革」に係る次期取組計画策定に向けて

I 現状

- 目標**
- ・月45時間以内（年間360時間以内）
 - ・月80時間を超える教員を0
 - ・年次有給休暇 年14日以上



年次休暇の取得状況（単位：日）

| | H30実績 | R1実績 | R2実績 | R3実績 |
|--------|-------|------|------|------|
| 小学校 | 12.1 | 11.0 | 7.6 | 12.0 |
| 中学校 | 10.6 | 9.2 | 8.3 | 11.0 |
| 高等学校 | 10.9 | 10.3 | 9.9 | 10.6 |
| 特別支援学校 | 13.5 | 13.5 | 11.4 | 13.6 |
| 全校種平均 | 11.8 | 10.6 | 8.9 | 11.5 |

○H30年度（取組計画策定当初）とR3年度を比較すると
超過勤務時間・月45時間超の割合・月80時間超の割合は
わずかに減少

III 成果と課題

- ▼専科教員の拡充による教科担任制の推進、教員業務支援員の配置は働き方改革に資する取組となっている（市町連携会議より）。
- ▼校務等におけるICTの活用で教職員の負担軽減は一定進むも、超過勤務時間は高止まりの状況にあり、取組は道半ばである。
- ▼学校間で超過勤務時間に差が見られる。保護者連絡や授業準備等にICTを活用することでさらなる業務負担軽減を図ることが求められる。

「学校における働き方改革」教職員アンケートの実施

- 9～10月に実施
- 小・中・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教職員を対象
- 結果分析から、これまでの成果と課題を整理し、取組計画や事業に反映する

（コロナ禍が教職員の働き方改革にどのような影響を与えたのかについても把握）

II これまでの取組

柱1. 学校業務の見直し・効率化や指導・運営体制の充実

- ▶ 統合型校務支援システム導入（県・市町）
- ▶ 県立高等学校へのテスト採点・集計システムの導入
- ▶ Web会議システムや動画配信等による会議・研修のオンライン化
- ▶ 講師登録の電子化と任用の効率化
- ▶ 小学校専科教員の配置拡充
- ▶ スクール・サポート・スタッフの配置拡充
- ▶ 学校業務・行事の廃止・精選事例の共有
- ▶ 学校への依頼について募集团体に要請
- ▶ 調査文書や会議等に関する業務負担の軽減
- ▶ 好事例集の作成と活用
- ▶ 働き方改革に係る市町連携会議での連携

柱2. 部活動における教員の負担軽減

- ▶ 部活動指導員の配置拡充
- ▶ 部活動のあり方検討の実施
- ▶ 地域部活動モデル事業の実施
- ▶ 部活動に係るアンケートの実施

柱3. 専門性を持った多様な人材の活用

- ▶ SC・SSWの配置と活用
- ▶ 弁護士による学校サポートの充実

柱4. 家庭や地域の力を活かす取組

- ▶ コミュニティ・スクールの推進
- ▶ 地域学校協働活動推進員の配置促進

柱5. 教職員の健康づくりと勤務時間管理

- ▶ 留守番電話（メッセージ機能）の設置
- ▶ 「学校閉庁日」の実施（県・市町）
- ▶ 働き方改革研修会を通じた意識改革

IV 次期取組計画策定に向けて

【目指す姿】

「子どもも教職員も笑顔あふれる学校」

- 業務のさらなる見直しと効率化
 - ・学校業務の見直しと平準化を促進
 - ・教科担任制の効果的な運用
- ICT・外部支援人材の効果的な活用
 - ・教員業務支援員等の効果的な活用
 - ・授業準備や分掌業務におけるICT化の促進
- 中学校部活動の地域移行に向けた取組推進